

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
N T T 054-284-3608

J R 東海労に
結集しよう！

発行責任者 山本繁明
2011年4月30日 No. 19

4.25 尼崎事故を

風化させんな！

今年の4月25日で、J R西日本の尼崎事故から6年が経過しました。直接的な事故の犠牲者は死者107名、負傷者562名を出す未曾有の大惨事でした。当時の事を忘れてしまった人はいないでしょう。しかし、年月の経過と共に記憶から少しずつ薄れていることも事実かもしれません。

J R西日本は、一部の遺族とで作る「4.25 ネットワーク」と議論した成果を公表しました。「ミスを報告する環境が整っていなかった」、日勤教育には「一部に苦痛と受け止められていた可能性があり改善すべき点があった」、余裕の無いダイヤには「運転士にあせりや動揺をもたらす可能性は否定できない」と見解を示しました。しかし、私たちから見れば、まだまだ責任逃れにしか思えません。果たして、十分な対策が取られていると言えるのでしょうか。

私たちのJ R東海ではどうでしょうか。確かに日勤教育に対しては改善されてはいるでしょう。しかし、未だにミスに対しての会社の対応には「ミスを報告する環境が整っている」とはお世辞にも言えない状況です。日勤教育は未だに続けられていますし、運転ダイヤには十分な余裕があると言い切れるのでしょうか。J R東海は、大きな事故が起こった後にJ R西日本と同じ様な見解を出すことが無いよう努力をしなければなりません。

福島原発の事故が毎日のようにテレビや新聞で報道されています。私たちの地元の浜岡原発の危険性についても再び関心が高まっています。私たちは原発にはずっと反対してきました。私たち日本人は、「熱しやすく、冷めやすい」とよく言われます。忘れる事が必要なこともあります。しかし、尼崎事故や原発の危険性は忘れてはならない事です。私たちの子供、孫、子孫の為にも。

忘れてはならない事は忘れてはならない